

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	[7136] (国保)諸費 (はり・きゅう・貸付)	会計名称	国民健康保険特別会計 (事業勘定)		担当課	市民課	
		予算科目	5 款 1 項 1 目	事業番号	9708	所属長名	高橋洋司
事業評価の有無	<input type="checkbox"/> 評価対象事業 <input checked="" type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	二宮誠二	
法令根拠等	伊予市国民健康保険はり又はきゅう施術規則、伊予市国民健康保険高額療養費貸付規則				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	健康福祉都市の創造 生涯にわたる健康づくり					【終了】	令和 年度(予定) ■ 設定なし
総合計画における本事業の役割	制度の持続的・安定的な運営を図り、安心して医療サービスを受けることのできる環境を整備する。						
事業の対象	国民健康保険被保険者			事業の目的	国保被保険者の健康増進と医療費が高額となった場合の貸付等援助。		
事業の内容 (整備内容)	はり・きゅう施術に関する助成及び高額療養費の支給相当額の9割を限度とした貸付けを行なう。			評価事業としないこととした理由	はり・きゅう施術は、被保険者に対する現物給付であり、その額をコントロールすることができない。高額療養費貸付事業は、急な入院等で限度額適用認定証等の交付を受けることができず、医療機関での支払が困難な者等を対象とし、貸付金については、その後の高額療養費支給申請手続により全額が償還される。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2 年度予定	9月末の実績	2 年度実績
直接事業費	1,250	2,440	0	0	0	1,145	はり・きゅう施術助成額	千円	1250	1440	380	1145
財源内訳												
国庫支出金	0	0	0	0	0	0						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	2,440	0	0	0	1,145	高額療養費貸付	千円	0	1000	0	0
一般財源	1,250	0	0	0	0	0						
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.10				0.10						
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	2,049	3,221				1,926						
主な実施主体	直接事業費		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)									
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					2,440	2,440	2,440	2,440	2,440	12,200		

事務事業評価 (CHECK)

自己判定 (担当責任者)	事業の成果	はり・きゅう助成事業に関しては、被保険者の健康維持・増進に寄与するため継続していくことが望ましい。高額療養費貸付については、限度額適用認定証等の交付により実績はないものの、突発的な入院等により限度額適用認定証等の交付申請ができなかった被保険者に備え、制度は継続しておく必要がある。	
一次判定	事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する	判断の理由 国民健康保険の被保険者の健康維持に係る助成金であり、事業を継続する必要がある。

二次判定	<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
	<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申 外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

経営者会議 の最終判断	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	